

第65期に関するご報告

2022年3月1日～2023年2月28日

High Quality & Low Price



SUPER REPORT

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」
中期経営計画「2125計画」2年目の年

★第65期開店



Contents

●事業のご報告	1	●第65期トピックス [100店舗達成・店舗開発]	5
●長期ビジョンと中期経営計画	3	●第65期 トピックス [ESGへの取り組み]	7
●ビジネスモデル	4	●財務諸表	9



証券コード:2742

事業のご報告

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社「第65期に関するご報告」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2023年5月

代表取締役社長 **佐藤 利行**



当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、徐々に経済活動が正常化に向かう一方、新たな変異株による感染者数の急拡大、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰及び円安による物価上昇等、先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界を取り巻く環境につきましては、消費者の購買行動が新型コロナウイルス感染症拡大前の状態に徐々に戻り

始めました。しかし、輸入物価の高騰等によるインフレを背景に、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。なお、スーパーマーケット業界では、原材料の高騰等による商品価格の上昇を背景に、既存店の売上高前年比は回復基調となりましたが、電気代及び人件費等の高騰から営業利益減少の傾向が見られました。

このような状況の中で当社は、以下の主要な取り組みを行いました。

- | | |
|--------|---|
| ①商品面 | 重点販売商品の育成
プライベートブランド商品のシェアアップ |
| ②販売促進面 | 生活防衛企画
自社会員カード(ハロカ)のポイント優遇施策 |
| ③店舗運営面 | 4店舗の大改装
セルフレジ設置の推進
各種コード決済サービスの導入 |
| ④店舗開発面 | 5店舗の新規出店
太陽光発電による再生可能エネルギー電力の導入店舗拡大 |

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する

- ⑤社会貢献面 フードバンク事業運営団体への商品提供
「ハローズモデル」の普及活動
自社エコセンターによる資源の再利用
社会福祉事業支援のためのエコキャップ収益の寄付
食に関する支援活動や防災活動・イベントの実施
新たに3つの自治体・団体と災害協定を締結

以上の結果、商品原価及びエネルギーコストの上昇はあったものの、当事業年度の営業収益は1,741億7百万円(前期比6.6%増)、営業利益は90億52百万円(前期比4.2%増)、経常利益は91億41百万円(前期比4.9%増)、当期純利益は62億1百万円(前期比4.5%増)となりました。営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

また、当社は商品小売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

当事業年度の配当金につきましては、中間配当として普通配当1株当たり20円(2円増配)、期末配当として普通配当1株当たり20円に「100店舗達成記念配当2円」を加え、22円(2円増配)を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり42円(4円増配)となります。

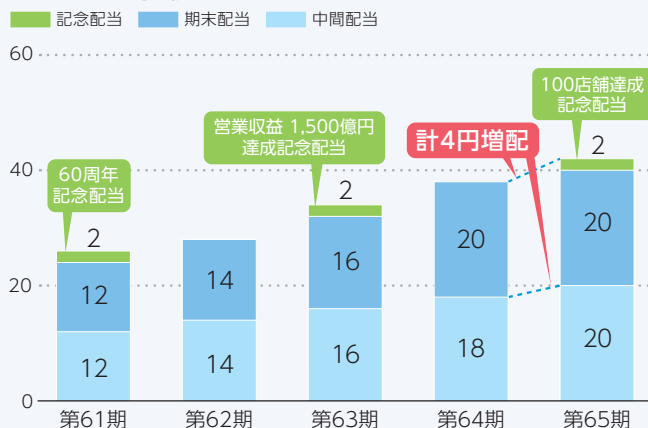
今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響は残る中、物価の上昇等により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

このような環境の中、変化・競争に柔軟に対応しつつ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内での優位性確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○配当金の推移

(単位：円)



○営業収益の推移

(百万円)



(注) 第65期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、前期業績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となっております。

長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想 中期経営計画「2125計画」

瀬戸内沿岸部に設定した商勢圏内(中国・四国・近畿の7県下)に、180店の店舗展開を行い営業収益3000億円を目指しております。

中期経営計画「2125計画」2年目として、計画を上回る営業収益となりました。3年目の第66期は山口県への出店を行い、商勢圏の拡大を予定しています。

今後も「地域一番お客様貢献店づくり」を推進し、お客様の生活スタイルに対応した「より良い商品」を「低価格」で提供していきます。

中期経営計画

2125計画

長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗
3000億円構想



2125計画とは？

2025年度迄に
120店舗体制で
2000億円を達成！

詳細は下記の
ウェブサイトより
ご確認ください。



<https://www.halows.com/ir/vision/>

2125計画とは、2025年度までに120店舗体制で営業収益2000億円を達成する計画です。

食をプロデュースするハローズへ進化

お客様に日々ご利用いただけるハローズを目指し、低価格、品揃え、サービス機能の強化により「地域一番お客様貢献店づくり」を推進していきます。

また、従業員が生き活きと夢や目標に向かって活躍できるハローズを目指し、人事制度、オペレーション、店舗施設などを再構築し、「元気になる会社づくり」をはかっていきます。

さらにビジネスモデルの進化で成長するハローズを目指し、坂出口ロジスティクスセンター新設による物流拠点網の拡大と効率的な物流体制などを展開し、「生産性の高い会社づくり」を行っています。

ビジネスモデル



ビジネスモデルの概要

顧客ニーズ	ハローズ	コロナに対応
いつでも買物ができる 24時間営業	ビジネス モデル 1 24時間オペレーション 店舗運営+物流+情報の各システム	自分の生活スタイルに合わせて いつでも買物ができる24時間営業
365日食生活の提案 豊富な店揃え	ビジネス モデル 2 600坪型店舗のNSC 業態の良さ+Pプライス+ショートタイムS	高い天井・広い通路で3密にならない 短時間で買物ができる
より良い商品を お値打ち価格で	ビジネス モデル 3 製造・物流・販売の一括管理 SCM(サプライチェーンマネジメント)	低価格販売で 生活者のくらしを守る
With・コロナに対応したビジネスモデルである		
NSC：近隣購買型ショッピングセンター Pプライス：ポピュラープライス ショートタイムS：ショートタイムショッピング		

ビジネス
モデル 1

24時間オペレーション

いつでも買物ができる24時間営業

自分の生活スタイルに合わせて、混雑していない時間を選んで買物
をすることができるため、密集を緩和できます。

様々なお客様のニーズに24時間応えるため

昼

- ・商品加工
- ・レジ業務
- ・接客対応

24h

- ・商品陳列
- ・店内清掃
- ・防犯体制

夜

24時間営業：作業の平準化による効率的なオペレーション

[24時間バックアップ]
店舗に合わせた物流体制

[24時間フォローアップ]
本部・センター情報提供

24時間サポート

店舗オペレーションを中心としたビジネスモデル

ビジネス
モデル 2

600坪型店舗のNSC

P6で特集

600坪型標準店舗

高い天井、広い通路で3密になりにくい
店内空間で買物ができます。

NSC(近隣購買型ショッピングセンター)

購買頻度の高い商品を扱う店舗を誘致
してNSCを形成することで、ショートタイムショッピングができます。



ビジネス
モデル 3

製造・物流・販売の一括管理

より良い商品をより安く

自社物流及び本部機能を中心に、調達～販売までをコントロール
することで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまい
ります。

ハローズセレクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセレクション」は
安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切
な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。



PB総品目数

778品目

売上高構成比

11.8%

2023年2月28日
現在

おかげさまで

100店舗

達成いたしました。

広島県府中市にて創業以来、広島県、岡山県、香川県、愛媛県、徳島県、兵庫県と出店エリアを拡大し、新規出店を継続してまいりました。おかげさ
12月に善通寺店と多肥店開店により100店舗を達成しました。また早島物流センターに加え2023年3月には坂出口ロジスティクスセンターを稼働させ、
向上、安定供給を実現してまいりました。これもひとえに、地域のお客様・株主様はじめとしたステークホルダーの皆様のご支援の賜物と感謝いたし
今後も地域のお客様にとって、なくてはならないお店「地域一番お客様貢献店づくり」に全従業員一丸となって取り組んでまいります。

●100店舗達成 瀬戸内各県初出店店舗と物流センターの紹介



トピックス〔店舗開発〕

第65期の新規出店と改装状況

第65期は広島県1店舗、兵庫県2店舗、香川県2店舗の新規出店を行いました。

既存商勢圏のドミナント化を中心に600坪型24時間営業の5店舗の新規出店により、店舗数は広島県32店舗、岡山県27店舗、香川県14店舗、愛媛県8店舗、徳島県9店舗及び兵庫県12店舗の合計102店舗となりました。

また、既存店4店舗に対して、「地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更」と「省エネ対応をふまえた店内設備の改修工事」等の改装を行いました。

まで、2022年
品質・品揃えの
ております。

新規開店店舗

ハローズ
おのてん
小野店

兵庫県小野市

2022年
3月27日 開店ハローズ
かさいてん
加西店

兵庫県加西市

2022年
4月27日 開店ハローズ
せんつうしんてん
善通寺店

香川県善通寺市

2022年
12月2日 開店ハローズ
たひてん
多肥店

香川県高松市

2022年
12月15日 開店ハローズ
かんおんしんまちてん
観音新町店

広島県広島市

2023年
2月10日 開店

● 改装店舗

ハローズ
おとしまてん
乙島店

岡山県倉敷市

2022年5月28日 リニューアルオープン

ハローズ
おのみちてん
尾道店

広島県尾道市

2022年6月25日 リニューアルオープン

ハローズ
はしまてん
羽島店

岡山県倉敷市

2022年7月16日 リニューアルオープン

ハローズ
えぎまてん
江崎店

岡山県岡山市

2022年11月19日 リニューアルオープン



トピックス [ESGへの取り組み]

近年、企業が環境保全及び社会貢献を考慮した経営に取り組むESGに取り組んでまいります。

～持続可能な社会のために～ Environment

持続可能な社会の発展のために、当社では店舗・事務所内の省エネや廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでいます。お客様に安心してお買物をしていただけるよう環境保全活動に継続して取り組んでまいります。

店頭リサイクル活動

ハローズではサステナビリティ方針に則ったCSR活動の一環として店頭で資源回収を行っています。牛乳パックや缶類(スチール・アルミ)、ペットボトル、食品トレイの回収を行っています。



店頭リサイクルステーション

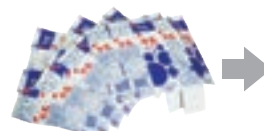
日本財団 海と日本PROJECT [CHANGE FOR THE BLUE]とコラボレーション

日本財団 海と日本PROJECT「CHANGE FOR THE BLUE」に参画しコラボレーションパッケージのプライベートブランドとして開発した「ハローズセレクション ソフィアタッチエコ」を昨年12月から販売しております。同商品は、回収した牛乳パックを使った再生原料100%のソフトパックティッシュで、パッケージには「美しい海を未来へ繋げよう」をキーワードにしたCHANGE FOR THE BLUEのロゴとハローズの取り組みを紹介する動画のQRコードが印字されています。

なお、2023年2月期は、販売1個(150組×5個パック)につき1円を岡山県環境文化部へ寄付しました。



日本財団 海と日本PROJECT
「CHANGE FOR THE BLUE」



店頭で回収した牛乳パック



製品として販売

「美しい海を未来へ繋げよう」PR動画はこちらをご覧ください。
<https://www.rsk.co.jp/umigomi/index.html>



フードバンクの新しい形「ハローズモデル」

ハローズでは、食を通して好循環型社会の実現を目指しています。

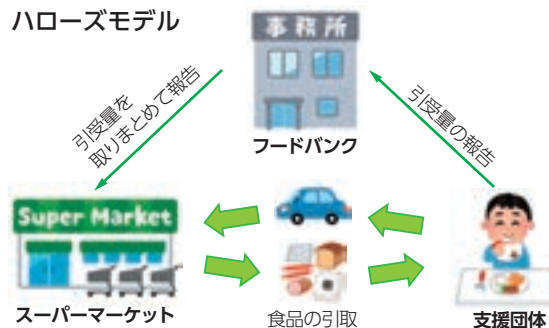
また、持続可能な社会の実現のため、食品ロス削減の取り組みを行っています。

ハローズが開発・提唱した「支援を受ける団体が近隣の店舗で直接引き取る」フードバンクの新しいかたち「ハローズモデル」によって、これまで消費期限が短く提供が困難だった乳製品や日配品などの提供が可能となりました。これにより従来型のフードバンクの10倍の商品提供が可能になりました。2023年現在では240トンを提供するまでになっています。

ハローズモデルによって提供可能になった食品

- 野菜 ●果物 ●精肉加工物(ハム・ソーセージ) ●乳製品 ●日配品
- 加工食品 ●アイスクリーム ●冷凍食品 ●惣菜 ●菓子

ハローズモデル



フードバンクが支援している子ども食堂等の生活支援団体が、近隣のスーパーへ直接引取に向かう

ことに期待が高まっております。ハローズはサステナビリティ方針に則り、

～社会への貢献～
Social

当社の事業活動はお客様や地域社会に支えられており、各種イベントや食に関する支援活動・防災活動等を通じ社会への貢献に努めてまいります。

防災キャンプ

2022年10月23日(日)にフォレスト!早島町ふれあいの森公園(キャンプ場)にて「早島防災デイキャンプ」を早島町、山陽新聞社のご協力のもと開催いたしました。



消火訓練

防災への心がけや実践を学ぶ機会として、水消火器を使用した消火訓練、救命救急講習会、土のうや段ボールベッド作り体験など、親子30組が楽しみながら防災について体験されました。



十のう作り

また、お取引先様から多数の防災食品（賞味期限が長く常温保管できるもの）をご協賛頂き、商品の展示を行い参加者の皆様に配布いたしました。

ハローズカップ 瀬戸内少年少女サッカー大会

第9回 ハローズカップ 瀬戸内少年少女サッカー大会

開催日:2022年7月2日・3日

開催場所：福田東スポーツ広場(倉敷市児島宇野津)

2022年は、岡山県内の小学生チーム18
チーム参加によるサッカー大会に共催し
ました。ハローズはサッカーを愛する少年
少女たちの健全な心身の育成と、地域のス
ポーツ振興に貢献してまいります。



えるぼし認定

2023年1月18日に「女性の活躍を推進している企業」として「えるぼし」認定されました。

女性従業員が全体の7割を占めるハローズの中で、女性活躍推進に対する取り組みが優良と認定されました。今後も、男女ともに活躍できる職場環境の整備に努めてまいります。



～コーポレート・ガバナンス～
Governance

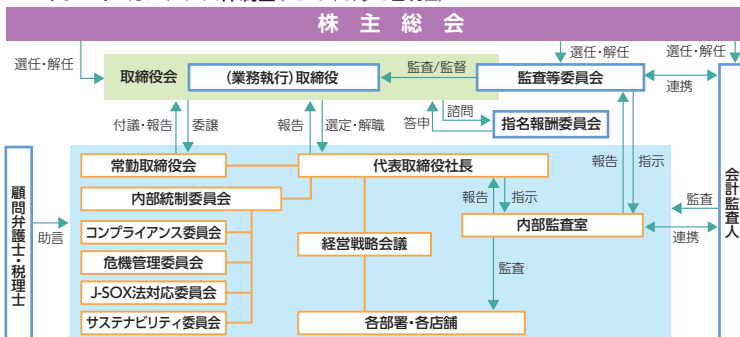
当社は、良き企業市民として社会に貢献するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要課題と考えております。企業経営の透明性、公正性を高め、株主その他のステークホルダーの皆様のために企業価値の向上を進めてまいります。

コーポレート・ガバナンスの概要

組織形態	監査等委員会設置会社
取締役会議長	代表取締役社長
取締役人数	15名
監査等委員人数	4名
指名報酬委員人数	5名

(2023年5月25日現在)

コーポレート・ガバナンス体制図(2023年5月25日現在)



財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

	第65期 2023年2月28日現在	第64期 2022年2月28日現在
資産の部		
流動資産	23,747	19,627
現金及び預金	16,705	13,396
その他	7,048	6,236
貸倒引当金	△ 6	△ 4
固定資産	75,400	67,638
有形固定資産	63,891	56,500
無形固定資産	539	301
投資その他の資産	10,969	10,836
資産合計	99,148	87,266
負債の部		
流動負債	22,886	21,109
買掛金	9,485	8,615
一年内返済予定の長期借入金	4,153	3,289
リース債務	473	520
未払金	1,491	1,563
未払費用	1,407	1,297
未払法人税等	1,764	1,910
その他	4,111	3,911
固定負債	21,454	16,756
長期借入金	14,057	9,431
リース債務	754	847
退職給付引当金	805	748
資産除去債務	1,574	1,497
預り建設協力金	938	991
長期預り敷金保証金	2,101	2,029
長期前受収益	934	902
その他	288	308
負債合計	44,341	37,865
純資産の部		
株主資本	54,641	49,278
資本金	5,430	5,430
資本剰余金	5,383	5,379
利益剰余金	43,930	38,579
自己株式	△ 102	△ 111
評価・換算差額等	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0
新株予約権	164	121
純資産合計	54,806	49,400
負債・純資産合計	99,148	87,266

(注) 第65期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。なお、前期業績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となっております。

損益計算書

(単位:百万円)

	第65期 2022年3月 1 日から 2023年2月28日まで	第64期 2021年3月 1 日から 2022年2月28日まで
売上高	168,819	159,147
売上原価	126,106	118,978
売上総利益	42,713	40,168
営業収入	5,287	4,226
営業総利益	48,001	44,395
販売費及び一般管理費	38,948	35,706
営業利益	9,052	8,688
営業外収益	200	135
営業外費用	111	110
経常利益	9,141	8,713
特別利益	3	2
特別損失	12	10
税引前当期純利益	9,131	8,705
法人税等	2,929	2,772
当期純利益	6,201	5,932

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第65期 2022年3月 1 日から 2023年2月28日まで	第64期 2021年3月 1 日から 2022年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	10,619	3,280
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 11,519	△ 7,819
財務活動による キャッシュ・フロー	4,075	△ 4,047
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	3,174	△ 8,586
現金及び現金同等物 の期首残高	14,663	23,249
現金及び現金同等物 の期末残高	17,837	14,663



株主資本等変動計算書

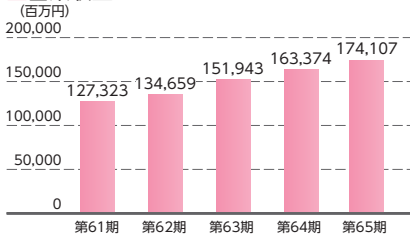
当事業年度(2022年3月1日から2023年2月28日まで)

(単位:百万円)

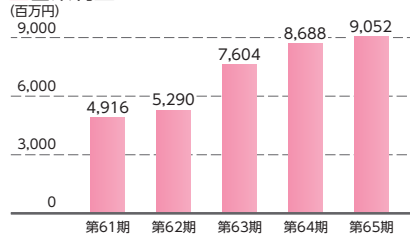
	株 主 資 本										評価・換算差額等				新 株 予 約 権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計				
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計			
当期首残高	5,430	5,373	6	5,379	16	199	26,522	11,841	38,579	△111	49,278	0	0	121	49,400	
会計方針の変更による累積的影響額								3	3		3				3	
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,430	5,373	6	5,379	16	199	26,522	11,845	38,583	△111	49,282	0	0	121	49,404	
当期変動額																
剰余金の配当								△854	△854		△854				△854	
当期純利益								6,201	6,201		6,201				6,201	
圧縮積立金の取崩						△5		5	—		—				—	
別途積立金の積立							4,200	△4,200	—		—				—	
自己株式の取得										△0	△0				△0	
自己株式の処分			3	3						9	12				12	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)												0	0	43	43	
当期変動額合計	—	—	3	3	—	△5	4,200	1,152	5,347	8	5,359	0	0	43	5,402	
当期末残高	5,430	5,373	9	5,383	16	194	30,722	12,997	43,930	△102	54,641	0	0	164	54,806	

ハローズの業績推移

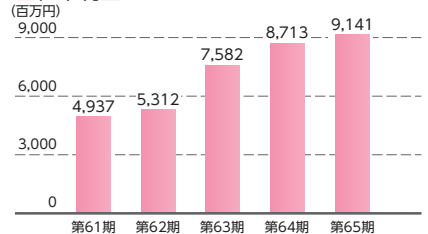
営業収益*



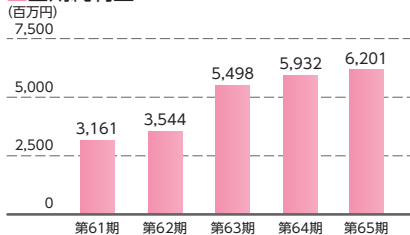
営業利益



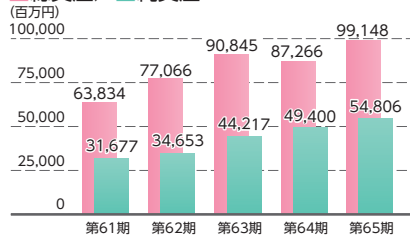
経常利益



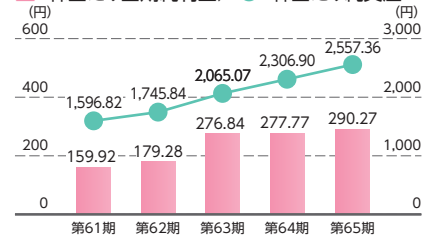
当期純利益



総資産／純資産



1株当たり当期純利益／1株当たり純資産



*売上高に営業収入を加算し、営業収益としております。

会社情報



会社概要 (2023年2月28日現在)

会社設立 1958年10月14日
会社名 株式会社ハローズ
資本金 54億3,063万円
本社 広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号
(同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)
本部 岡山県都窪郡早島町早島3270番地1
電話番号:086-483-1011(代表)
従業員数 1,266名
事業内容 食品スーパーマーケット業(食料品、日用雑貨品等の販売)
店舗数 102店舗
(広島県32店舗、岡山県27店舗、香川県14店舗、愛媛県8店舗、徳島県9店舗、兵庫県12店舗)

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
剰余金の配当基準日 中間 毎年8月末日
期末 毎年2月末日
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
○特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインターネットでも24時間承っております。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
○株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
東京証券取引所プライム市場
100株
電子公告
公告掲載URL <https://www.halows.com/>
○やむを得ない事由により、電子公告が出来ない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

上場金融商品取引所
単元株式数
公告掲載方法

役員 (2023年5月25日現在)

代表取締役社長 佐佐木高末
取締役副社長 佐佐木高末
専務取締役 佐佐木高末
専務取締役 佐佐木高末
常務取締役 佐佐木高末
取締役 佐佐木高末
取締役 佐佐木高末
取締役 佐佐木高末
取締役(社外) 佐佐木高末
取締役(社外) 佐佐木高末
常勤監査等委員 佐佐木高末
常勤監査等委員(社外) 佐佐木高末
監査等委員(社外) 佐佐木高末
監査等委員(社外) 佐佐木高末
佐藤 美子
藤岡 橋光
藤原 井田
崎本 原
利太 秀正
憲登 健新
義千 俊和
恵
行志 典名
司子 二三
典則 明二
正均 子

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。また、株主の皆様への感謝を込めて、株主優待制度を設けております。

所有株式数	株主ご優待券
100株以上	1,000円相当(500円優待券2枚)
500株以上	5,000円相当(500円優待券10枚)
1,000株以上	10,000円相当(500円優待券20枚)
利用方法	

- ・当社の店舗にて、1,000円以上のお買物につき、1,000円ごとに1枚利用できます。
- ・有効期限 発行された翌年の5月末日まで

進呈時期

- 毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録されている100株以上ご所有の株主様に対し、年1回5月末頃発送の予定をしております。
- なお、当社店舗所在の市町村及び隣接する市町村以外に在住の株主様につきましては、上記基準による株主ご優待券にかえて「QUOカード」を進呈いたします。



High Quality & Low Price



ハローズ ホームページのご案内 <https://www.halows.com/>
ハローズ財団 ホームページのご案内 <https://www.halowszaidan.or.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。 環境にやさしい植物油インキにて印刷しています。